

令和7年度 杉並区施策評価シート I

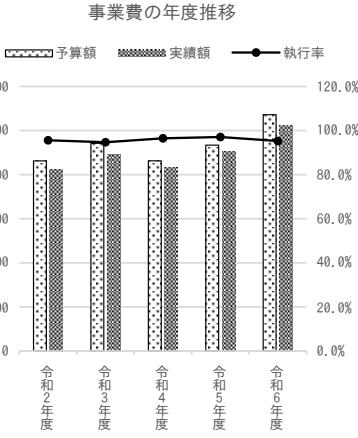
施策	14	人権を尊重する地域社会の醸成
分野	05	すべての人が認め合い、支え・支えられながら共生するまち
施策担当課	区民生活部管理課	関係課 総務課

施策目標

- 差別や偏見を生む誤った情報や偏った情報がなくなり、年齢、性別、国籍、人種や様々な価値観などその多様性を認め合うなど、互いの人権を尊重し、あらゆる差別や偏見を許さないという意識がすべての区民に根付いています。
- 性別による固定的な役割分担意識から解放され、誰もが、性別に関係なく、様々な分野に参画し、互いに個性を尊重し、能力を発揮できています。
- すべての区民が、性の多様性に関する理解が進み、性のあり方にかかわらず、一人ひとりが尊重され、多様な生き方を認め合い、誰もが自分らしく安心して暮らし、活動しています。

指標名		指標説明	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標年度 目標値
活動指標	配偶者等からの暴力についての相談件数		件	計画	500	500	500	500	
				実績	450	533	597	-	
				達成率	90.0%	106.6%	119.4%	-	
	講座の開催回数		回	計画	13	13	11	12	
				実績	13	13	11	-	
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	-	
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
成果指標	他人の立場を尊重・理解するなど、人権を意識しながら生活している区民の割合	区民意向調査による	%	計画			22	25	令和12年度
				実績	21.4	21.4	44.1	-	40%
				達成率	-	-	200.5%	-	
	分類 区民満足度指標								
	区内事業所における管理職（課長相当職以上、役員含む）に占める女性の割合	男女共同参画に関する意識と生活実態調査	%	計画			27	27.5	令和12年度
				実績	25.4	26.1	24.8	-	30%
				達成率	-	-	91.9%	-	
	分類 社会成果（課題）指標								
	「杉並区性の多様性が尊重される地域社会を実現するための取組の推進に関する条例」の認知度	区民意向調査による【上昇を目指す】	%	計画					令和12年度
				実績		49.9	46.4	-	上昇
				達成率	-	-	-	-	
	分類 行政サービス成果指標								
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
	分類								
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
	分類								
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
	分類								

		単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
施策コスト	事業費	千円	予算額	215,607	235,540	215,654	233,451	267,989	278,142
			実績額	206,106	223,049	208,065	226,626	255,289	-
			執行率	95.6%	94.7%	96.5%	97.1%	95.3%	-
	人件費	千円	予算額	126,126	137,205	134,532	123,345	136,072	157,769
			実績額	131,168	142,207	113,611	134,398	152,293	-
			執行率	104.0%	103.6%	84.4%	109.0%	111.9%	-
	総事業費 （事業費+人件費）	千円	予算額	341,733	372,745	350,186	356,796	404,061	435,911
			実績額	337,274	365,256	321,676	361,024	407,582	-
			執行率	98.7%	98.0%	91.9%	101.2%	100.9%	-
	国・都からの補助金等	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
			実績額	0	0	0	0	0	-
			執行率	-	-	-	-	-	-
	総事業費伸び率 （予算額、実績額の対前年度比）	%	予算額		9.1%	-6.1%	1.9%	13.2%	7.9%
			実績額		8.3%	-11.9%	12.2%	12.9%	-
	人件費比率 （人件費÷総事業費）	%	予算額	36.9%	36.8%	38.4%	34.6%	33.7%	36.2%
			実績額	38.9%	38.9%	35.3%	37.2%	37.4%	-



特記事項

施策の成果	区民の人権に対する意識がどのような状態なのかを確認するため、区民意向調査（人権意識）とは別に、区民3,000人を対象とした無作為抽出により詳細な意識調査を実施しました。そのほか、人権問題を担当する各課との協力や情報共有、意見交換等により、障害者や子ども、外国人等の人権を守る取組を組織横断的に推進するとともに、啓発パネルの作成や区ホームページの充実、デジタルサイネージの活用等に取り組み、人権に関する正しい知識を分かりやすく、広く区民へ伝え人権意識の向上に努めました。 とりわけ男女共同参画の推進については、自分らしくいきいきと暮らせる社会の実現をめざして、ワーク・ライフ・バランスや女性の活躍・健康に関すること、男性の家事・育児の促進に関することや、男女共同参画の基礎作りと性の多様性が尊重される地域社会の実現に関する啓発講座を11回開催しました。また、配偶者暴力相談支援センターについては、配偶者等からの暴力による被害を潜在化させず、相談を適切な支援に結びつけるため、他所管との連携等も図りながら運営を行いました。
------------------	---

課題の分析	成果指標「他人の立場を尊重・理解するなど、人権を意識しながら生活している区民の割合」については、令和3年2月に東京都が実施した「人権に関する都民の意識調査」のデータに基づき、その参考値を現状値として目標値を設定しました。本指標により、令和6年に区で初めて確認した区民の人権を意識している割合は約44%と、当該目標値である22%を大きく上回りましたが、今後も区民が高い人権意識を保てるよう、人権啓発の取組を推進するとともに、実態の把握に注視する必要があります。 3年ごとに実施する「男女共同参画に関する意識と生活実態調査」では、社会の変化に照らした区民・事業所の動向を確認し、特に男女平等や性の多様性、DVなどに関する人権意識において、社会全体の認知・理解不足の課題が見受けられました。チラシやリーフレット配布、講座やパネル展等のイベント開催などを通じた取組の強化やパートナーシップ制度の周知徹底が必要です。また、男女平等推進センターを「知っていた」は10.4%となりました。男女平等推進センターの活性化のため、今後も区内で活動する団体等に活動の場や機会を提供するとともに、引き続き広く区民に対し施設の周知を行う必要があります。
------------------	---

改善・見直しの方向 中長期	今後の施策の方向性	※第 2 段階評価時に入力
	今後の進め方	※第 2 段階評価時に入力

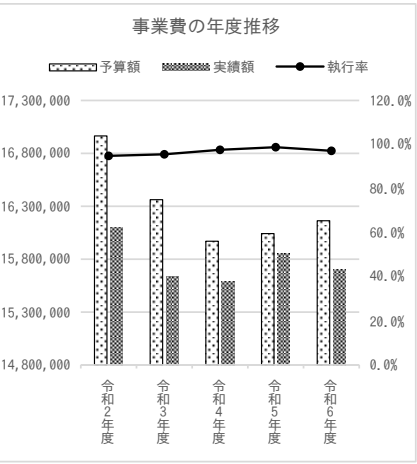
令和7年度 杉並区施策評価シート I

施策	15	地域の支え合いと安心して暮らせる体制づくり
分野	05	すべての人が認め合い、支え・支えられながら共生するまち
施策担当課	在宅医療・生活支援センター	関係課 福祉事務所生活自立支援担当、生活衛生課

施策目標	○相談支援、参加支援及び地域づくりに向けた支援を一体的に推進することで、既存の制度の対象となりにくく、複数の生活課題を抱えている区民を包括的に支援する体制が整っています。 ○高齢者や障害者、子ども等の他分野の関係機関と連携して、複雑化・複合化した課題を抱える生活困窮者に寄り添った支援を行い、生活困窮者が自立できるようになっています。また、就労支援のほか、ひきこもりに対する居場所づくりや家族への支援など多様な体制が整っています。 ○動物に対して様々な価値観を持つ区民同士が互いに理解し合うとともに、人も動物も共に健やかに暮らしていける地域社会づくりの取組が充実しています。
------	---

指標名		指標説明	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標年度 目標値
活動指標	重層的支援会議の開催回数		回	計画			6	5	
				実績			6	-	
				達成率	-	-	100.0%	-	
	ひきこもりに関する講演会、サポーター養成講座、事業説明会の開催数		回	計画	0	2	1	5	
				実績	0	2	1	-	
				達成率	-	100.0%	100.0%	-	
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
成果指標	各相談支援機関から在宅医療・生活支援センターへの相談件数		件	計画			430	440	令和12年度
				実績	408	451	408	-	450件
				達成率	-	-	94.9%	-	
	分類	行政サービス成果指標							
	ひきこもりサポーターの人数		人	計画				60	令和12年度
				実績				-	360人
				達成率	-	-	-	-	
	分類	行政サービス成果指標							
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
	分類								
			計画						
			実績				-		
			達成率	-	-	-	-		
分類									
			計画						
			実績				-		
			達成率	-	-	-	-		
分類									
			計画						
			実績				-		
			達成率	-	-	-	-		
分類									

		単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
施策コスト	事業費	千円	予算額	16,964,934	16,362,341	15,969,724	16,041,977	16,163,343	16,235,730
			実績額	16,094,967	15,639,205	15,588,942	15,850,079	15,703,708	-
			執行率	94.9%	95.6%	97.6%	98.8%	97.2%	-
	人件費	千円	予算額	1,265,852	1,335,787	1,379,017	1,380,081	1,415,943	1,489,494
			実績額	1,347,744	1,415,039	1,426,662	1,468,031	1,572,145	-
			執行率	106.5%	105.9%	103.5%	106.4%	111.0%	-
	総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	18,230,786	17,698,128	17,348,741	17,422,058	17,579,286	17,725,224
			実績額	17,442,711	17,054,244	17,015,604	17,318,110	17,275,853	-
			執行率	95.7%	96.4%	98.1%	99.4%	98.3%	-
	国・都からの補助金等	千円	予算額	12,153,576	11,588,968	11,574,970	11,520,807	11,569,175	11,597,820
			実績額	12,870,329	11,693,542	11,694,457	11,654,028	11,720,393	-
			執行率	105.9%	100.9%	101.0%	101.2%	101.3%	-
	総事業費伸び率 (予算額、実績額の対前年度比)	%	予算額		-2.9%	-2.0%	0.4%	0.9%	0.8%
			実績額		-2.2%	-0.2%	1.8%	-0.2%	-
	人件費比率 (人件費÷総事業費)	%	予算額	6.9%	7.5%	7.9%	7.9%	8.1%	8.4%
			実績額	7.7%	8.3%	8.4%	8.5%	9.1%	-



特記事項	
------	--

施策の成果	区民の社会参加や住民主体の地域づくりを支援するため、地域福祉コーディネーターによる「地域支え合いの仕組みづくり事業」を3地域で実施し、230件の新規相談を受け付けました。また、令和6年度から重層的支援会議を設置し、切れ目ない支援体制の構築に向けた今後の取組方法や課題の共有を行いました。 生活自立支援窓口では、10,782件の相談を受け、伴走型支援を行いました。71人が就労につながり、54人が収入増となっています。ひきこもり相談では1,169件の相談を受けました。ひきこもり当事者の居場所である「くらポート」は24回開催し延べ136人の参加がありました。 また、動物との共生に向けては、災害時のペット同行避難に必要な資材等の震災救援所への配備（15か所）を進めたほか、令和6年3月に開設した区立ドッグラン広場の運営等を通じ、適正飼養の普及啓発を図りました。
---	--

課題の分析	住民の複雑化・複合化した生活課題に対応するため、包括的な相談支援体制を強化するとともに、住民の社会参加や住民主体の地域づくりに向けた支援を一体的に実施することが求められています。 生活自立支援窓口の相談件数は、昨年度（14,443件）に続き減少傾向にありますが、コロナ禍以前の令和元年度と比べると依然高い水準で推移しています（令和元年度8,387件）。労働市場や経済活動は回復してきたものの、新規相談件数は2,048件と昨年度（1,757件）より増加しました。これは課題が複雑化・複合化している証左で、対象者に寄り添った伴走型支援を引き続き強めていく必要があります。 また、人も動物も共に健やかに暮らせる地域社会の実現に向けて、引き続き都市における動物飼養ルールの普及啓発や災害時のペット救護対策など、区民や関係機関と連携・協力して推進する必要があります。
---	---

改善・見直しの方向 中長期	今後の施策の方向性	※第２段階評価時に入力
	今後の進め方	※第２段階評価時に入力

令和7年度 杉並区施策評価シートⅠ

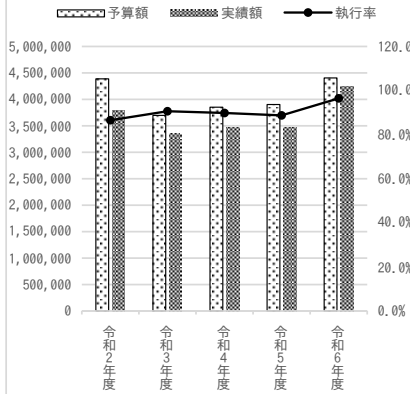
施策	16	高齢者とその家族が安心して暮らせる生活の確保と社会参加の支援
分野	05	すべての人が認め合い、支え・支えられながら共生するまち
施策担当課	高齢者施策課	関係課 高齢者在宅支援課、介護保険課

○認知症になっても、希望を持って住み慣れた地域で自分らしく生活を続けられています。また、必要な時に必要な在宅介護サービスや地域ネットワークによる支援を受けながら、安心して高齢期の生活を過ごせるようになっていきます。
○介護施設の基盤整備が進められるとともに、介護人材が充足され、適切な介護施設サービスを提供できる環境が整っています。
○多くの元気な高齢者が、いきがいを持って生活を送るとともに、自らの知識・経験等を生かしながら、地域共生社会づくりの担い手となって活動しています。

指標名		指標説明	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標年度 目標値
活動指標	家族介護支援事業利用者数		人	計画	8,150	8,152	8,733	9,054	
				実績	8,036	8,299	7,483	-	
				達成率	98.6%	101.8%	85.7%	-	
	地域包括支援センター(ケア24)延べ相談件数	地域包括支援センター(ケア24)20所で受けた延べ相談件数	件	計画	129,000	135,000	131,000	132,000	
				実績	145,455	149,419	145,528	-	
				達成率	112.8%	110.7%	111.1%	-	
	長寿応援ポイント活動登録グループ数	長寿応援ポイント事業を利用している活動登録団体数	件	計画			1,360	1,360	
				実績	1,351	1,350	1,328	-	
				達成率	-	-	97.6%	-	
	介護ロボット等導入経費補助金交付要綱周知事業者数		所	計画			67	69	
				実績			67	-	
				達成率	-	-	100.0%	-	
成果指標	地域包括支援センター(ケア24)で総合相談から認知症支援につないだ件数		件	計画	7,800	8,000	8,080	8,110	令和12年度
				実績	7,292	7,958	6,916	-	8,260件
				達成率	93.5%	99.5%	85.6%	-	
	分類	行政サービス成果指標							
	今後も在宅での介護を続けていけるとする介護者の割合	区民意向調査による	%	計画			90	90	令和12年度
				実績	81.6	73.3	75.6	-	90%
				達成率	-	-	84.0%	-	
	分類	区民満足度指標							
	地域で支え合い、サービスや医療を受けながら、高齢になっても安心して暮らせる体制が整っていると思う区民の割合	区民意向調査による	%	計画			31	31	令和12年度
				実績	27.2	27.4	29.4	-	34%
				達成率	-	-	94.8%	-	
	分類	行政サービス成果指標							
	特別養護老人ホームの整備が充足している割合	年度内入所者数÷入所申込者のうち、当該年度の4月1日時点で区が最も入所優先度が高い区分に評価した者の数	%	計画			100	100	令和12年度
				実績	163.5	178.6	170.1	-	100%以上
				達成率	-	-	170.1%	-	
	分類	社会成果(課題)指標							
	地域活動・ボランティア活動・就労している高齢者の割合	区民意向調査による	%	計画	41.5	45.4	47.8	48.1	令和12年度
				実績	47	50.1	55.9	-	50%
				達成率	113.3%	110.4%	116.9%	-	
	分類	社会成果(課題)指標							
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
	分類								

		単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
施策コスト	事業費	千円	予算額	4,387,978	3,697,420	3,852,251	3,902,985	4,405,118	4,177,490
			実績額	3,797,419	3,350,599	3,460,408	3,463,305	4,249,369	-
			執行率	86.5%	90.6%	89.8%	88.7%	96.5%	-
	人件費	千円	予算額	606,233	578,016	555,119	549,572	570,959	523,164
			実績額	631,651	577,557	554,949	573,119	636,564	-
			執行率	104.2%	99.9%	100.0%	104.3%	111.5%	-
	総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	4,994,211	4,275,436	4,407,370	4,452,557	4,976,077	4,700,654
			実績額	4,429,070	3,928,156	4,015,357	4,036,424	4,885,933	-
			執行率	88.7%	91.9%	91.1%	90.7%	98.2%	-
	国・都からの補助金等	千円	予算額	1,160,776	994,378	1,361,438	957,657	582,754	578,555
			実績額	1,064,912	942,571	1,225,869	1,167,805	816,786	-
			執行率	91.7%	94.8%	90.0%	121.9%	140.2%	-
	総事業費伸び率 (予算額、実績額の対前年度比)	%	予算額		-14.4%	3.1%	1.0%	11.8%	-5.5%
			実績額		-11.3%	2.2%	0.5%	21.0%	-
	人件費比率 (人件費÷総事業費)	%	予算額	12.1%	13.5%	12.6%	12.3%	11.5%	11.1%
			実績額	14.3%	14.7%	13.8%	14.2%	13.0%	-

事業費の年度推移



特記事項

○成果指標について、より適切なものとするため、次のとおり変更しました。
「地域で支えあい、サービスや医療を受けながら、高齢になっても安心して暮らせる体制が整っていると思う区民の割合」は、計画事業「高齢者の地域包括ケアシステムの推進・強化」と合わせて、施策15から移行しました。
「今後も在宅での介護を続けていけるとする介護者の割合」及び「特別養護老人ホームの整備が充足している割合」は、従前の成果指標からより適切なものにそれぞれ変更しました。

施策の成果	認知症基本法の施行（令和6年1月）を踏まえて、認知症施策の推進を図りました。成果指標「ケア24の総合相談から認知症支援につないだ件数」は計画値を下回ったものの、個々のケースに応じて適切な支援を図ることができました。また、引き続き、地域包括ケアシステムの推進・強化等に取り組んだ結果、成果指標「高齢になっても安心して暮らせる体制が整っていると思う区民の割合」も増加しました。 介護サービスの基盤の整備では、この間に特別養護老人ホームを計画的に整備してきた成果が現れているほか、新たに介護支援専門員法定研修受講料助成を開始するなど、介護人材の定着・育成支援に取り組みました。 高齢者のいきがい活動については、各種の評価事業を着実に推進し、成果指標「地域活動等をしている高齢者の割合」が引き続き増加しました。また、令和7年度から見直し後の長寿応援ポイント事業を実施するための準備等を進めました。
-------------------------------	---

課題の分析	認知症施策については、令和7年度に予定する認知症あんしんガイドブック（認知症ケアパス）の改定等に認知症本人や家族の意見を一層反映させるなど、認知症基本法の理念等に沿った本人参加の取組を進める必要があります。また、引き続きチームオレンジ（令和8年度までに20チーム設置）や生活支援体制整備事業の充実を図るなど、地域包括ケアシステムと認知症施策の一体的な推進に取り組み、高齢者が安心して在宅生活できる環境を整えていくことが重要と考えます。 介護サービス基盤については、引き続き必要な施設整備に取り組むとともに、令和7年度に予定する介護サービス事業者等実態調査の結果等を踏まえ、国や東京都との適切な役割分担の下、区が行うべき今後の支援等のあり方を検討・具体化することが課題です。 高齢者のいきがい活動では、高齢者の第三の居場所となるゆうゆう館・コミュニティふらっとの双方が多くの高齢者にとってより使いやすい施設となるよう、区立施設マネジメント計画（令和6年度修正）に基づく見直し等を令和7年度中に検討・具体化する必要があります。
-------------------------------	--

改善・見直しの方向 中長期	今後の施策の方向性	※第２段階評価時に入力
	今後の進め方	※第２段階評価時に入力

令和7年度 杉並区施策評価シートⅠ

施策	17	障害者の社会参加と地域生活の支援
分野	05	すべての人が認め合い、支え・支えられながら共生するまち
施策担当課	障害者施設支援課	関係課

- 施策目標
- 障害者が身近な地域でいきいきと日々の活動と暮らしができる場が整備されています。

○個々の能力や特性に応じたきめ細やかな支援により、障害者雇用が進み、多様な就労形態で活躍する障害者が着実に増えています。また、重度の障害者などの活躍の場が拡がり、安心して就労できる環境が整備されています。

○福祉人材が確保されることにより、障害者に対する緊急時に備えた支援等が充実し、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる体制が整っています。

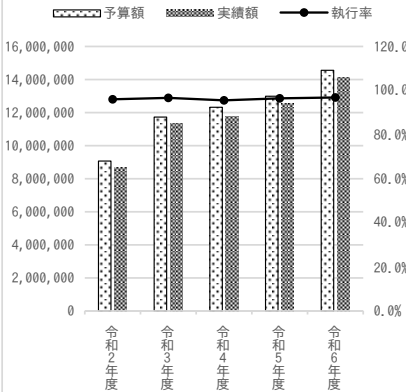
○外出支援の取組や余暇活動などの場が充実し、障害者がスポーツ活動など様々な活動に参加する機会が増えることで、充実した生活が送れる環境が整っています。また、障害の有無によって分け隔てられることなく、障害者が地域の一員として力を発揮し、地域で支え、支えられながら暮らしています。

○障害のある方が様々な場所や場面において、適切な意思疎通支援やデジタル技術の活用を通して、円滑なコミュニケーションを取ることができています。

指標名		指標説明	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標年度 目標値
活動指標	区内重度障害者通所施設の数	重度障害者が通所できる施設の数	所	計画	10	10	10	11	
				実績	10	10	10	-	
				達成率	100.0%	100.0%	100.0%	-	
	職場定着支援件数	障害者雇用支援事業団が行った職場定着支援の件数	件	計画	7,900	8,690	8,690	8,690	
				実績	5,947	6,759	7,083	-	
				達成率	75.3%	77.8%	81.5%	-	
	移動支援事業の利用者数	移動支援事業年間実利用者数		計画	1,202	1,004	1,067	1,074	
				実績	868	912	947	-	
				達成率	72.2%	90.8%	88.8%	-	
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
成果指標	重度障害者通所施設定員数	重度障害者が日中活動を行う施設（生活介護）の定員数	人	計画			206	268	令和12年度
				実績	206	228	228	-	286人
				達成率	-	-	110.7%	-	
	分類	行政サービス成果指標							
	就労1年後の定着率	民間作業所および障害者雇用支援事業団から就労した人の定着率	%	計画	96	96.2	96.4	96.6	令和12年度
				実績	91.7	95.1	94.7	-	98%
				達成率	95.5%	98.9%	98.2%	-	
	分類	利用者満足度指標							
	障害者緊急時対応計画の作成が必要な障害者への計画作成率		%	計画	17.2	27.6	37.9	48.3	令和12年度
				実績	2.6	5.8	8.9	-	100%
				達成率	15.1%	21.0%	23.5%	-	
	分類	行政サービス成果指標							
	移動支援事業利用率	年間利用者実人数÷年度末移動支援登録者数	%	計画	82	83	84	85	令和12年度
				実績	72.2	74.3	74.7	-	90%
				達成率	88.0%	89.5%	88.9%	-	
	分類	利用者満足度指標							
	街で障害者が困っているときに声をかけたことのある区民の割合	区民意向調査による	%	計画	44	48	84	85	令和12年度
				実績	75.3	76	77.7	-	90%
				達成率	171.1%	158.3%	92.5%	-	
	分類	区民満足度指標							
				計画					
				実績				-	
				達成率	-	-	-	-	
	分類								

		単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
施策コスト	事業費	千円	予算額	9,069,793	11,729,504	12,322,449	12,990,216	14,558,572	14,533,021
			実績額	8,710,005	11,340,178	11,775,533	12,532,262	14,101,401	-
			執行率	96.0%	96.7%	95.6%	96.5%	96.9%	-
	人件費	千円	予算額	500,246	636,673	655,136	667,082	734,517	796,167
			実績額	562,743	669,179	688,737	728,843	838,458	-
			執行率	112.5%	105.1%	105.1%	109.3%	114.2%	-
	総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	9,570,039	12,366,177	12,977,585	13,657,298	15,293,089	15,329,188
			実績額	9,272,748	12,009,357	12,464,270	13,261,105	14,939,859	-
			執行率	96.9%	97.1%	96.0%	97.1%	97.7%	-
	国・都からの補助金等	千円	予算額	5,707,214	6,040,116	6,510,781	6,580,367	7,190,571	7,993,267
			実績額	5,719,054	6,345,859	6,558,382	6,788,315	7,582,148	-
			執行率	100.2%	105.1%	100.7%	103.2%	105.4%	-
	総事業費伸び率 (予算額、実績額の対前年度比)	%	予算額		29.2%	4.9%	5.2%	12.0%	0.2%
			実績額		29.5%	3.8%	6.4%	12.7%	-
	人件費比率 (人件費÷総事業費)	%	予算額	5.2%	5.1%	5.0%	4.9%	4.8%	5.2%
			実績額	6.1%	5.6%	5.5%	5.5%	5.6%	-

事業費の年度推移



特記事項

施策の成果	障害者入所・通所施設の整備等では、（仮称）久我山生活園の令和7年4月開設に向けて、民間事業者に対し建設工事費等の補助を行うことで、障害者の活動や居住の場の確保に努めました。 障害者の就労支援では、重度障害者等の就労支援を促進するため、令和6年度から重度障害者スタートアッププログラムを開始し、3人が短時間就労に就くことができました。 障害者の地域生活支援体制の支援・強化では、緊急時対応計画について年間作成件数は増加傾向ですが、さらに取組を進めるため、杉並区地域自立支援協議会の専門部会として地域生活支援拠点部会を設置し、関係機関と緊急時対応計画の対象者へのアプローチの見直し等の検討を開始しました。また、福祉人材の確保、育成では、公民事業者の連携による人材育成講座の回数を増やすなどの取組により、参加者数の増加につながるなど、福祉人材の確保・育成に効果がありました。 障害者の権利擁護と共生社会の推進では、合理的配慮をわかりやすく伝えるためのガイドブックを作成し、区立施設等に配布したほか、ガイドブックを活用した講座を職員や区立地域施設の管理者向けに実施しました。また「共生社会しかけ隊」の取組として、障害当事者が医療機関をより利用しやすくするため、ソフト面とハード面で良かった事例をまとめた解決ヒント集を医師会協力のもと作成しました。 障害特性に合わせたコミュニケーション支援では、聴覚障害者のコミュニケーションの一つである手話の理解促進を進める取組として、PR動画を作成したほか、区民や職員向けの研修を実施しました。また、コミュニケーションの担い手である手話通訳者を増やすためフォローアップ講座を実施しました。
-------	---

課題の分析	重度障害者等の通所施設整備については、令和7年4月に重度知的障害者通所施設が1か所開設されましたが、重度の身体障害者通所施設については、今後の特別支援学校等の卒業生の人数を考慮すると、将来定員に不足が生じることから、整備等に関する検討をより具体的に行う必要があります。 障害者の就労支援については、令和6年度の障害者雇用促進法の改正による雇用率の引き上げや重度障害者の短時間就労者おける雇用率の算定化等を踏まえ、企業に対し訪問等による積極的な働き掛けが必要です。 緊急時対応計画は、作成数が増加傾向にあるものの目標値を下回っていることから、今後は区が緊急時に支援が必要と見込まれる方をリスト化し、潜在的な要支援者への説明を実施するなど、取組をより強化することが必要です。 また、福祉人材の確保・育成については、人材育成講座などの回数を増やしたり、介護職員等の初任者等の受講料助成等を行うなど、対応に努めているところですが、障害者団体などからは、人材確保に向けた一層の取組の充実に関する要望等もあることから、さらなる工夫が必要です。 移動支援事業は、年間延べ利用時間数が増えていることに加え、今後見直しによる対象拡大等により新規利用者の増加が見込まれることから、事業の担い手であるガイドヘルパーについて、一層の確保と定着を図る必要があります。また、聴覚障害者の情報保障として会議等への手話通訳者の配置が増加している一方、コミュニケーションの担い手である手話通訳者は、杉並区の登録者数がここ数年横ばいであることから、登録手話通訳者の確保・育成に向けた一層の取組が必要です。
-------	---

改善・見直しの方向 中長期	今後の施策の方向性	※第2段階評価時に入力
	今後の進め方	※第2段階評価時に入力